

**教育と保育が一体となって豊かな人間性を育む
幼保連携型の認定こども園がスタート**

室根こども園（藤野裕子園長、園児83人）の開園式は4月9日、入園式に先立ち行われ、年長児、保護者、市関係者や来賓約30人が参加しました。田代善久副市長は「地域の子育て支援の拠点としたい」とあいさつ。テープカットに続き、園児がくす玉を開いて開園を祝いました。

同園は、折壁保育園、浜横沢児童館、上折壁児童館、釘子保育園、津谷川保育園を統合した市立で3番目の認定こども園。各保育室を増床し、床面積は903.66平方メートル。また、主要な部屋の照明に発光ダイオード(LED)灯を採用したことで、広くて明るい園内になりました。



**一関市成人式企画実行委員会が全国で準大賞
実行委のメンバーが市長に受賞を報告**

全国の自治体で実施されたユニークな成人式を表彰する「第16回成人式大賞2016」（新成人式研究会主催）は3月24日、東京都千代田区のエッサム本社ビルで行われ、平成28年一関市成人式企画実行委員会（瀧澤千里委員長、委員19人）が成人式準大賞を受賞しました。オープニングの斬新なダンスやホームページ「I-Style ハタチ」の開設などの企画が評価されたもの。

同委員の小野寺凱さん（20）らは3月29日、勝部修市長に受賞を報告しました。小野寺さんは「20回も打ち合わせを重ねて企画を練った。評価されてうれしい」とにっこり。当市成人式企画実行委による成人式大賞の入賞は、7年連続7回目です。



**第23期緑のふるさと協力隊員に浅田さんが着任
舞川地区で1年間の活動がスタート**

NPO法人地球緑化センターの第23期緑のふるさと協力隊員の委嘱状交付は4月15日、市役所で行われ、石川県小松市出身の浅田真佑さん（21）が着任しました。4月から舞川地区で1年間、農業や地域行事などさまざまな活動に取り組みます。

浅田さんは東京学芸大に在学中。フィリピンやインドなどの海外ボランティア活動経験が豊富です。浅田さんは当市の第一印象を「人と人とのつながりが深い地域」と話し「地域活動やイベントへの参加を通して自分自身を成長させたい」と抱負を語りました。当市に緑のふるさと協力隊員が派遣されるのは、今年で6回目です。



**一関運動公園陸上競技場が改修終える
走路トラックなどを鮮やかなブルーに変更**

走路トラック部分をレンガ色から青色に変更するなどの改修を終えた一関運動公園陸上競技場の改修記念セレモニーは4月9日、同競技場で行われました。ブルートラックの導入は、東北では3例目、日本陸上競技連盟第2種公認競技場としては、北海道・東北地方で初めてです。当日は小中学生らが試走とテープカットを行いリニューアルを祝福。菅原さくらさん（東山中1年）は「青色は集中力が高まりそう」とブルートラックの感想を語りました。

改修の完了に合わせて「第20回みちのく春季陸上一関大会」が4月9日と10日の両日、同競技場で開催され、東北各県から集まった1,884人の選手が真新しいトラックで記録を競いました。

**西部第二学校給食センターが完成
市立小中学校がセンターからの給食供給に**

昨年3月から萩荘小に隣接する場所に建設していた西部第二学校給食センターが完成し、4月12日、開所式が行われました。式には市関係者ら約50人が出席。田代善久副市長は「給食を通じて食の大切さを学んでほしい」とあいさつ。市内3つの小中学校と平泉中に給食を届ける給食配送車を、出席者が拍手で見送りました。

同センターは鉄骨造一部2階建てで総事業費は約6億900万円。1日あたり千食を調理できます。同センターの完成により、市内の給食センターは6カ所となり、全ての市立小中学校に給食センターから給食が供給されます。



**県内のトップを切って室根山で山開き
本格的な行楽シーズンの幕開け**

登山客の安全と観光客の来訪を願う室根山の山開きは、4月10日に行われました。暖冬の影響で、昨年より9日早い開催。蟻塚公園で行われたセレモニーには、登山愛好家、地元の自然愛護少年団、関係者ら約300人が参加。テープカットの後、一斉に登山を開始しました。参加者は8回目にある室根神社でシーズン中の安全を祈願。標高895メートルの山頂では全員で万歳三唱を行い、登頂の喜びを分かち合いました。

参加した高橋郁人くん（室根東小5年）は「途中の急な斜面を登るのが大変だったけど、山頂に着いたときは気持ちがよかったです」と爽やかに話してくれました。



**地方創生の推進のため金融機関と連携
市と金融機関が連携協定を締結**

市と平泉町は、岩手銀行など4金融機関と地方創生の連携に関する協定を締結しました。総合計画や国際リニアコライダー（ILC）誘致などの取り組みを進めようとするもの。

3月23日には、市役所本庁で締結式が行われ、勝部修市長と青木幸保平泉町長、田口幸雄岩手銀行頭取が出席し、協定書に署名しました。勝部市長は「1つの自治体では地域の課題が完結できなくなる中、締結は心強い」、田口頭取は「広域連携は意義があり、力を尽くしたい」と話しました。3月25日には東北銀行、北日本銀行、一関信用金庫と連携協定が締結されました。



**一関南消防署藤沢分署完成
地域防災の新たな拠点に**

一関南消防署藤沢分署の落成式は4月10日、同分署前で行われ、関係者、市民ら約110人が地域防災の新たな拠点の完成を祝いました。同分署の完成によって、平成23年から行われていた消防庁舎の整備事業が完了しました。

同分署は研修に利用可能な会議室を設置。バリアフリーや点字ブロックなど補助が必要な人も利用しやすいように配慮されています。28時間稼働できる自家発電や太陽光発電などの設備があり非常時にも対応できます。また、藤沢病院への連絡階段を設置。救急隊員の資質を向上するために病院研修を実施するなど、連携が期待されます。